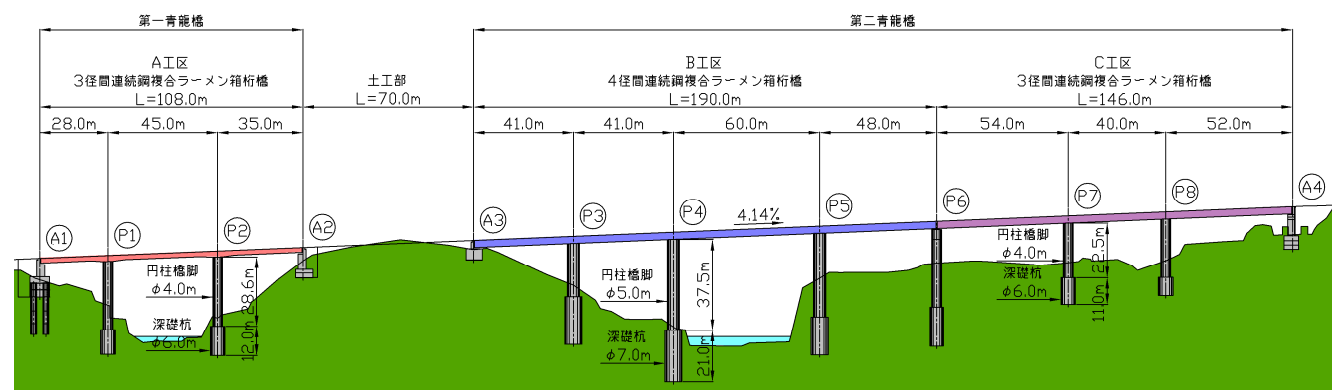
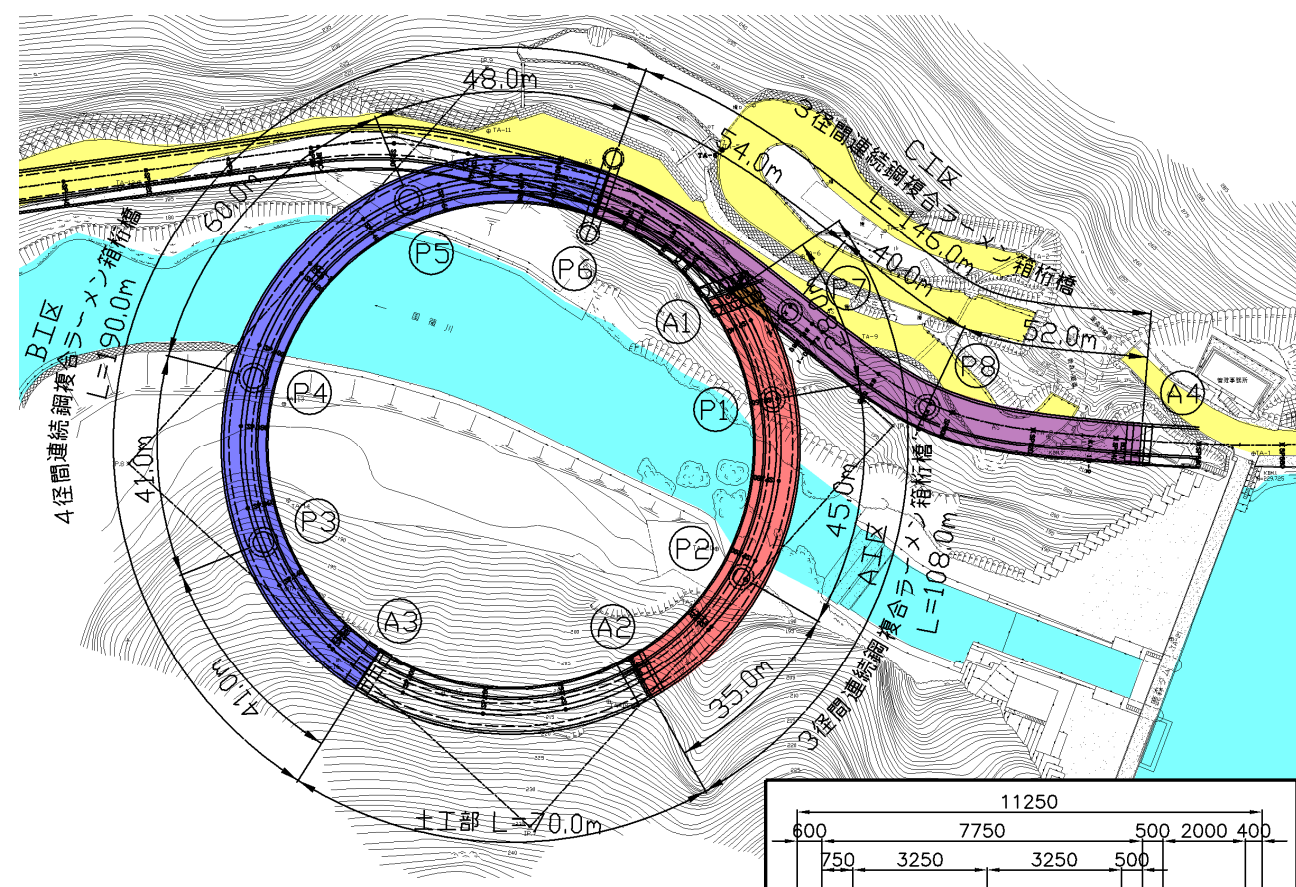


青龍橋計画図

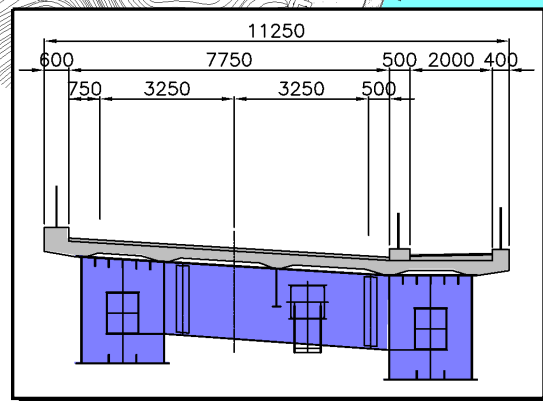


青龍橋側面図



青龍橋平面図

青龍橋ループ部断面図



愛媛県東予地方局建設部

〒793-0042 愛媛県西条市喜多川 796-1

TEL (0897)56-1300(代)

主要地方道 新居浜別子山線

せいりゅうはし

青龍橋

だいいちせいりゅうはし だいにせいりゅうはし
（第一青龍橋・第二青龍橋）

< 新居浜市立川町 >



事業概要

県道新居浜別子山線は、新居浜市角野地区の国道11号を起点に大永山トンネルを経て別子山地区に至る延長31.2kmの地域の産業や生活を支える幹線道路で、新居浜市と旧別子山村を結ぶ唯一の道路となっています。また、本路線は県道高知伊予三島線を経て国道319号につながる四国中央部の広域的な道路網の一部を形成しており、地域住民に安全と安心を与える緊急輸送路に位置付けられています。

さらに「マイントピア別子」、「鹿森ダム」、「清滝」、「旧別子銅山跡」、「別子観光センター」、「森林公園ゆらぎの森」、「富郷渓谷」及び「翠波高原」などを結ぶ観光周遊ルート（別子・翠波はな街道）としての役割も併せ持っています。

本事業区間の鹿森ダム近傍は、急峻な地形の山岳道路であり、狭隘区間も多く、急カーブが連続するなど交通の支障となっており、大型バスの通行もできない状況となっています。この解消を図るため、平成15年度から青龍橋工区の整備を進めており、延長444mのループ橋によるバイパス道路整備により交通の安全と円滑化が図られ、地域の発展に大きく寄与するものと期待されています。

愛媛県

路線概要

路線名 : 主要地方道 新居浜別子山線
 区 間 : 愛媛県 新居浜市 立川町
 延 長 : L=700m
 (橋梁部 444m、対岸土工部 70m、取付道路部 186m)
 道路規格 : 第3種 第4級
 幅 員 : 車道 2.75m x 2車線 (曲線拡幅 0.5m x 2 あり)、歩道 2.0m
 設計速度 : V=30 km/h
 縦断勾配 : i=4.14%
 最小曲線半径 : R=65m

青龍橋整備効果

(1) 安全性の向上

線形・幅員は道路構造令に準じ歩道を設置し安全性が向上する。

(2) 利便性の向上

走行性の向上 災害時の不安解消 救急時の不安解消

(3) 観光利用の誘発効果

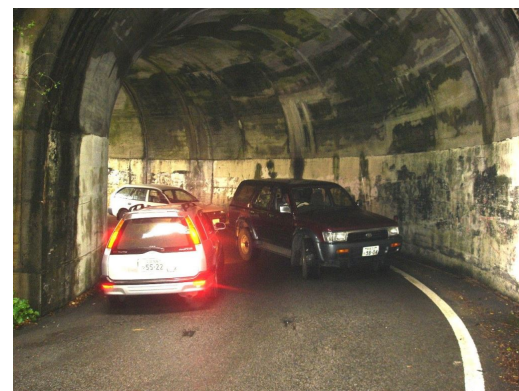
観光利用の誘発 観光資源としての青龍橋



施工状況



幅員が狭く急カーブのトンネルが連続し、離合・大型車の通行が困難な現道



別子・翠波はな街道マップ



青龍橋構造概要

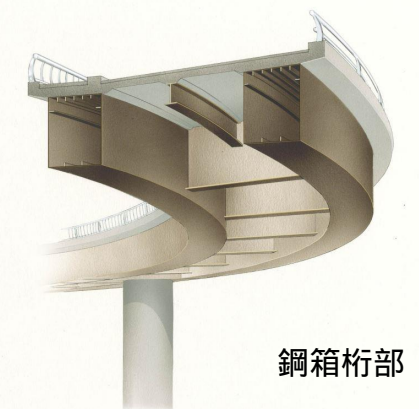
青龍橋 (仮称)

形式 3径間連続鋼複合ラーメン橋 (橋長 L=108.0m)
 対岸土工部 (区間 L= 70.0m)
 4径間連続鋼複合ラーメン橋 (橋長 L=190.0m)
 3径間連続鋼複合ラーメン橋 (橋長 L=146.0m)
 有効幅員 : B=9.25m ~ 10.25m
 曲線半径 : R=65 m

~ 青龍橋構造概要 ~

架橋位置はダム直下の渓谷部であるため、橋脚高は最大 $h=37.5\text{m}$ に達する構造である。基礎構造は、山岳部であるため深礎杭および直接基礎となっている。

本橋の橋梁形式は、鋼箱桁と RC 橋脚を剛構造とすることで『耐震性の向上』を図るとともに、支承のない構造を採用することで『コスト縮減』を図っている (図右下)。さらに鋼箱桁に耐候性鋼材を採用することによって将来の維持管理費を含めたコスト縮減対策を行っている橋梁形式となっています。



鋼箱桁部



鋼箱桁橋脚剛結部